

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 4 年 3 月 18 日(2022.3.18)

【公開番号】特開 2021-180875(P2021-180875A)  
【公開日】令和 3 年 11 月 25 日(2021.11.25)  
【年通号数】公開・登録公報 2021-057  
【出願番号】特願 2021-126775(P2021-126775)  
【国際特許分類】

A 6 1 M 25/00(2006.01)

10

A 6 1 B 18/14(2006.01)

【F I】

A 6 1 M 25/00 6 5 0

A 6 1 B 18/14

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 3 月 10 日(2022.3.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

金属部材を含み、近位端部と遠位端部を有する細長い部材であって、実質的に前記近位端部と前記遠位端部の間に延在するルーメンを規定し、遠位部分を有する、細長い部材と、前記金属部材の金属材料よりも X 線不透過性である X 線不透過性物質であって、前記細長い部材の遠位部分に関連付けられ、前記 X 線不透過性物質は、少なくとも 1 つの開口部の遠位の第 1 位置に位置し、前記 X 線不透過性物質は、更に、前記少なくとも 1 つの開口部の近位の第 2 位置に位置する、X 線不透過性物質と、

30

を備え、

前記遠位端部の周りに、前記ルーメンと流体連通する前記少なくとも 1 つの開口部を規定する、医療機器。

【請求項 2】

前記金属部材が中空であり前記ルーメンを規定し、前記少なくとも 1 つの開口部が、少なくとも 1 つのラテラルアパーチャを含む、請求項 1 に記載の医療機器。

【請求項 3】

前記少なくとも 1 つのラテラルアパーチャが長手方向に細長い、請求項 2 に記載の医療機器。

【請求項 4】

40

前記遠位端部に位置し、前記ルーメンを閉鎖する機能的先端部を備える、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の医療機器。

【請求項 5】

前記第 2 位置の前記 X 線不透過性物質の少なくとも一部がリング形状である、請求項 1 に記載の医療機器。

【請求項 6】

前記機能的先端部がドーム形または半球形である、請求項 4 に記載の医療機器。

【請求項 7】

前記細長い部材の一部を被覆する絶縁層を備え、少なくとも前記機能的先端部が露出している、請求項 4 または 6 に記載の医療機器。

50

## 【請求項 8】

前記第 1 位置の前記 X 線不透過性物質が、前記ルーメンを閉鎖する、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の医療機器。

## 【請求項 9】

前記金属部材と前記第 2 位置の前記 X 線不透過性物質とが接続されており別個ではない、請求項 8 に記載の医療機器。

## 【請求項 10】

前記第 1 位置の前記 X 線不透過性物質がドーム形または半球形である、請求項 8 又は 9 のいずれか一項に記載の医療機器。

## 【請求項 11】

前記第 2 位置の前記 X 線不透過性物質が溶接又は接着により、前記細長い部材に保持される、請求項 1 乃至 10 のいずれか一項に記載の医療機器。

10

20

30

40

50